



博物館だより リイシリ

令和5年
35号

発行：利尻町立博物館

住所 〒075-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136
電話 0163-85-1411
FAX 0163-85-1282
e-mail riishirtownmuseum@own.riishir.hokkaido.jp

6/3
SAT

マダニ採集会

日時

6月3日(土)

午前10時～11時

集合場所 利尻町立博物館

開催場所

利尻町立博物館の隣接林

内容

マダニはSFTSや紅斑熱などの原因となる病原体を保有することがあります。病原体を保有するマダニに咬まれることにより、私たちがヒトはこれらの病気に感染することが知られています。利尻島内にもシウルツエマダニなどが分布し、病原体をもつ例も報告されています。

ます(新倉ほか、2020)。

登山や散策、山菜採取などの野外活動により、マダニたちの生息場所に入ることも増えます。野外活動を行う方々はマダニの生息などを知り、感染を防ぐ必要があります。この観察会では、利尻町立博物館の隣接林でマダニの採集を行います。どんな場所にもどんなマダニが潜んでいるのかを実際に採集してみましょう。

持ち物

- ・フィールド散策に適した靴
- ・長袖・長ズボン(肌の露出しない服装、長靴や河童などがあれば万全です)

申込み

定員は先着8名。

締切は6月2日(金)。

その他

雨天・悪天時には中止いたします。

参考文献

新倉ほか、2020、利尻研究(39):41-46。

6/10
SAT

博物館資料を 仙中に見に行こう!

日時

6月10日(土)
午前9時30分～11時

集合場所

旧仙法志中学校
旧仙法志中学校

内容

当館は14万点をこえる資料を所蔵していますが、博物館内の収蔵スペースは限られており、資料の整理が難しい状況でした。2019年から旧仙法志中学校の校舎の一部を資料保管スペースとして利活用し、資料の保管状況の改善や登録・整理作業を進めてきま

した。

今回の事業では、旧仙法志中学校の校舎内を見学していただくとともに、所蔵資料の数々をご覧いただきます。当日は見学のほかにも、資料整理や清掃活動などのボランティア活動も行っていただく予定です。普段、なかなか見学する機会のない旧校舎の見学ができるほか、展示室で公開している資料をご覧いただける、貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

持ち物

ボランティア活動が行いやすいよう動きやすい服装(軍手等)

申込み

定員は先着10名。

締切は6月9日(金)。

その他

雨天決行(ボランティア活動は屋内で行います)。

利尻の海の不思議 22

利尻の海から 発見された生物たち①

リイシリでも紹介しましたが、今年の1月には利尻島沿岸で発見されたヒトデの一種、ユウヤケニセヒメヒトデが新種として報告されました。この機会に、

文献調査を行ったところ、これまでにも利尻島の海（沿岸域や海岸）から世界で初めて発見された生物があることがわかりました。利尻島の海辺で生物を採集し、丹念な観察、文献記録との比較を重ねた生物分類学者の方々がいらっしやったことを知り、感慨深く思いました。今回は利尻島沿岸で発見された種のうちのひとつである「クラタモエビ」についてご紹介します。

クラタモエビ *Eualus kuratai* は利尻島と礼文島の間の水深100～150メートルから発見されました (Miyake & Hayashi, 1967)。体長3センチメートル程

度の小型のエビです。クラタモエビが属するイソモエビ属のなかまは水産上はほとんど利用されていませんが、海底にすむ魚たちの胃内容物として発見されることもあり (駒井, 1994)、カレイ類やメバル類をはじめ、私たちが食用としている魚たちの餌となっていると想像されます。

水深100メートル程度の場所に定置網などを仕掛けることもあると聞きますので、網外しのお仕事をされています方や漁獲された魚をさばく機会が多い方は、クラタモエビを目にしているかもしれません。もし、小さなエビを発見された方は博物館までお知らせいただけると嬉しいです。(富岡)

参考文献

駒井, 1994. 日本海ブロック試験研究集録

(31): 81-107.

Miyake & Hayashi, 1967. Journal of the Faculty of Agriculture, Kyusyu University, 14(2): 247-265.

春の探鳥会は中止

4月30日に予定していた春の探鳥会。当日の開催時間帯は雨天のため、残念ながら中止となりました。当館では10月ごろに探鳥会の開催を予定しております。春に北の繁殖地に移動した鳥たちは、秋には南の越冬地へ移動します。利尻にも、春と同様に普段見られない旅鳥たちを目にすることができません。秋の森には、色づいた葉や木の実なども楽しめることと思います。一緒に野鳥を探しながら、散策も楽しみませんか? ご参加をお待ちしております。

博物館事業への 参加申込みについて

お電話、メールや当館ホームページ上のお問い合わせフォームから、お申込みいただけます。参加希望者のお名前、当日の連絡先など必要事項をお伝えください。メールやフォームからのお申し

込みの際には必ず返信いたしません。土日を除き、2日以上返信がない場合には、お手数をおかけしますが、改めてご連絡いただきますよう、お願いいたします。

傷病鳥保護

2023年4月～5月は3個体の野鳥の保護と回収を行いました。
・シジュウカラ、4月28日、森林公園、佐藤和久さん
・ツグミ、4月29日、栄浜、佐々木利来さん
・オオハクチョウ、5月11日、杵形泉町、保野耕二さん(様子の確認のみ。2日程度で飛んでいきました。)

リイシリ購読・閲覧

利尻町内の方には無料でお届けしていません。町外の方は1部につき郵送料84円のご負担で定期購読が可能なほか、メール配信も行っております。定期購読については当館までお気軽にお問い合わせください。なお、本誌は博物館のホームページでも閲覧可能です。最新号のほか、過去2年分のバックナンバーも公開中です。下のQRコードからアクセスしてください。



スマホで
アクセスできます!

